

学年・教科・担当者	1年・技術科・佐藤秀介
-----------	-------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・パソコンの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術科の授業の流れを知り今後の見通しを立てさせる。 ・GoogleジャムボードやGoogleスライドなど授業で使うアプリケーションの使い方を習得する。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図の見方 ・材料の切断 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図の見方を身に付けるようにする。 ・のこぎり引きの正しい方法を身に付ける。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の接着 ・仕上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・部品同士の正しい接着方法を身に付ける。 ・製作した製品の仕上げの仕方を身に付ける。
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材、金属、プラスチックなど社会で用いられている材料の特徴を知り設計に活かせるようにする。
2	9	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品の問題解決の工夫を読み取る ・自身の身の回りの問題を見つけ課題を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品の工夫、技術のしくみ、科学的な原理・法則をよみとることができる。 ・身の回りの問題を見付けることができ、その問題を解決するための課題（目標）を設定することができる。
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を基に、製品の設計する ・設計図を基に試作品を製作する 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するための製品の設計を行なうことができる。 ・設計図を基に試作品を製作することができる。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・製作活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図や模型をもとに製品を製作することができる。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・製作活動 	
3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・製作活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・研磨紙やワックスなどを用いて製品を完成させる。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した製品が課題を満たしているのか、勉強した知識を用いて評価する。また、制作過程などまとめさせ製作活動の振り返りを行う。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した製品とレポートを用いて、自身の製作した製品のプレゼンテーションを行い発表する技能を身に付ける。

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・授業での加工・接着技能 ・設計図
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・設計図 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの提出 ・ワークノートの提出 ・授業後のまとめ ・レポート

学年・教科・担当者	1年 技術・家庭 家庭分野	安井 知香
-----------	---------------	-------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	ガイダンス 1. 自分の成長と家族・家庭生活 ・中学生としての自立 ・わたしの生活と家族・家庭	○家庭分野の3年間の学習の見通しを知自立した生活者を目指す。 ○家庭科の学習が生活の自立や持続可能な社会の形成につながることに気付くことができる。 ○家族家庭の基本的な機能を知り、自分と家族のかかわりについて考える。
	5	健康な食生活① ・食事の役割 ・健康に良い食習慣 ・栄養素の種類と働きと6つの基礎食品群	○食事の役割について理解することができる。 ○健康に良い食習慣について考えることができる。 ○栄養素の種類と働きがわかる。 ○身近な食品を6つの食品群に分類することができる。
	6	中学生に必要な栄養	○中学生の時期に必要な栄養の特徴を考えることができる。
2	7	日常食の調理 ・魚の調理 ・野菜の調理 ・地域の食文化	○安全と衛生に気をつけて日常食を家庭でも調理することができる。 ○食品の調理上の性質を知り、適切に家庭でも調理することができる。 ○地域の食文化について理解できる。
	9	健康な衣生活① ・衣服のはたらき ・目的に応じた着用 ・個性を生かす服装 ・洋服と和服	○衣服のはたらきを知り、健康で自分らしく着るためには、どうしたらよいかを考えることができる。 ○T.P.O.を踏まえながら、個性をいかした着方を工夫することができる。 ○洋服と和風の構成の違いを理解し、和服の文化を受け継ぐ大切さに気付くことができる。
	10 11 12	生活を豊かにするために ・布による作品で生活を演出 製作の基礎・基本	○布を使った製作物（ティッシュボックスカバーもしくはPCケース）で基礎縫いを学習しながら、工夫し計画を立てて作ることができる。
3	1	安全でやさしい住まい ・住まいのはたらき	○住まいのはたらきと家族との関わりについて理解する。
	2	・日本の住まいと住まい方 安全な住まいと安心な暮らし	○日本の住まいと住まい方の特徴をあげることができる。 ○住まいの中の危険な場所について家庭内事故防止の対策を考えることができる。
	3	・家庭内事故への備え ・災害への備え	○安全な住まい方と災害への備えを考えることができる。

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能 生活と技術について理解し、それらに係る技能を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード
思考・判断・表現 生活の中から課題を設定し、解決策を構想することができる。 実践したことを評価・改善し、表現するなど課題を解決する力を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード、授業中の活動・発言
主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組むことができる。 改善したりして、生活を工夫し創造して実践しようとしている。	ワークシート、レポート、授業中の態度実習記録カード